

やに入りはんだPBF605 (Sn/0.7Cu/0.3Ag/0.03C0)の特性

(株)日本フィラーメタルズ

商品の特長 1)銅喰われが少ないので、こて先の消耗が抑えられる。 2)クリープ強度が大きい。 3)濡れ性に優れ、飛散が少ない。

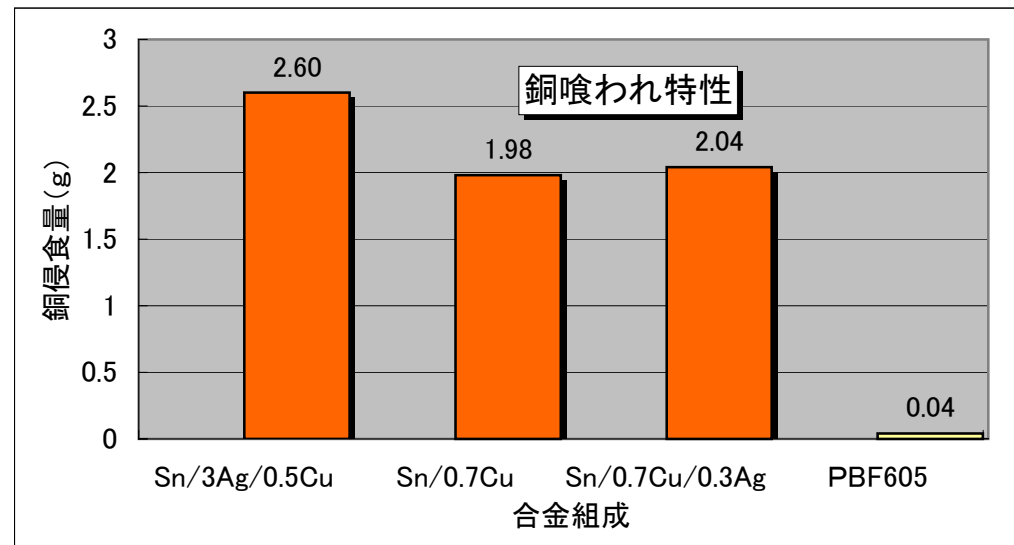
1. 合金特性 1)一般特性

	比重	溶融温度		機械特性		
		固相線 (°C)	液相線 (°C)	引張強度 (N/mm ²)	伸び (%)	ヤング率 (kgf/mm ²)
PBF605	7.30	217	227	35.3	28.0	4.85E+03
Sn/0.7Cu	7.29	227		34.0	46.0	4.94E+03
Sn/0.7Cu/0.05Ni	7.29	227		31.8	31.0	-
Sn/3Ag/0.5Cu	7.35	217	219	45.7	59.6	-
Sn/37Pb	8.39	183		51.3	49.8	4.45E+03

2. やに入りはんだの特性 1)フラックスの特性と含有量

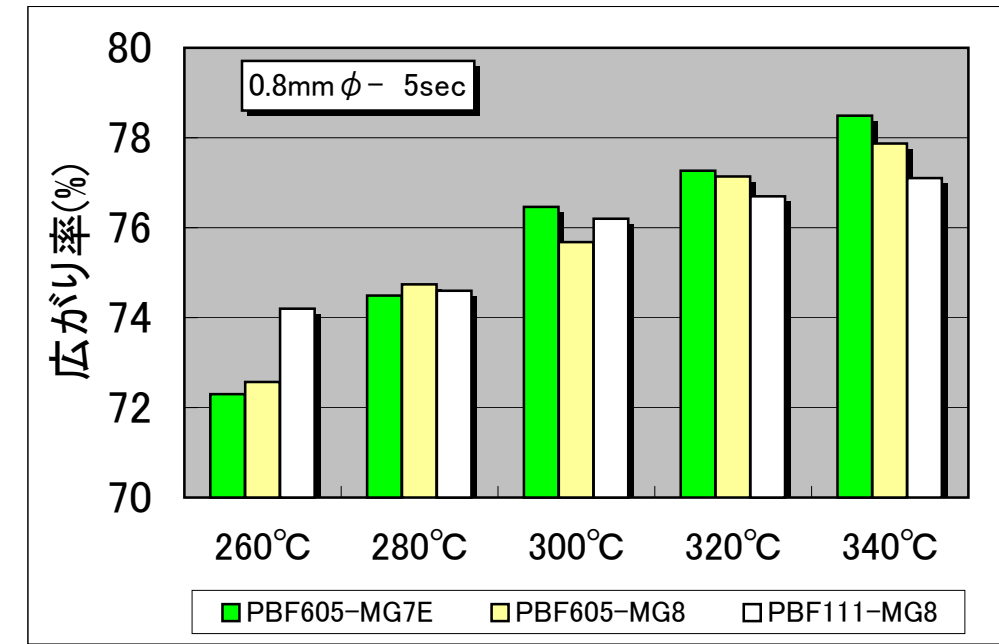
	等級	ハロゲン含有量 (%)	水溶液抵抗 (Ω・m)	フラックス含有量(%)
MG8	A級	0.13	600以上	3.0~3.5
MG7E	A級	0.30	500以上	3.0~3.5

2)銅喰われ特性

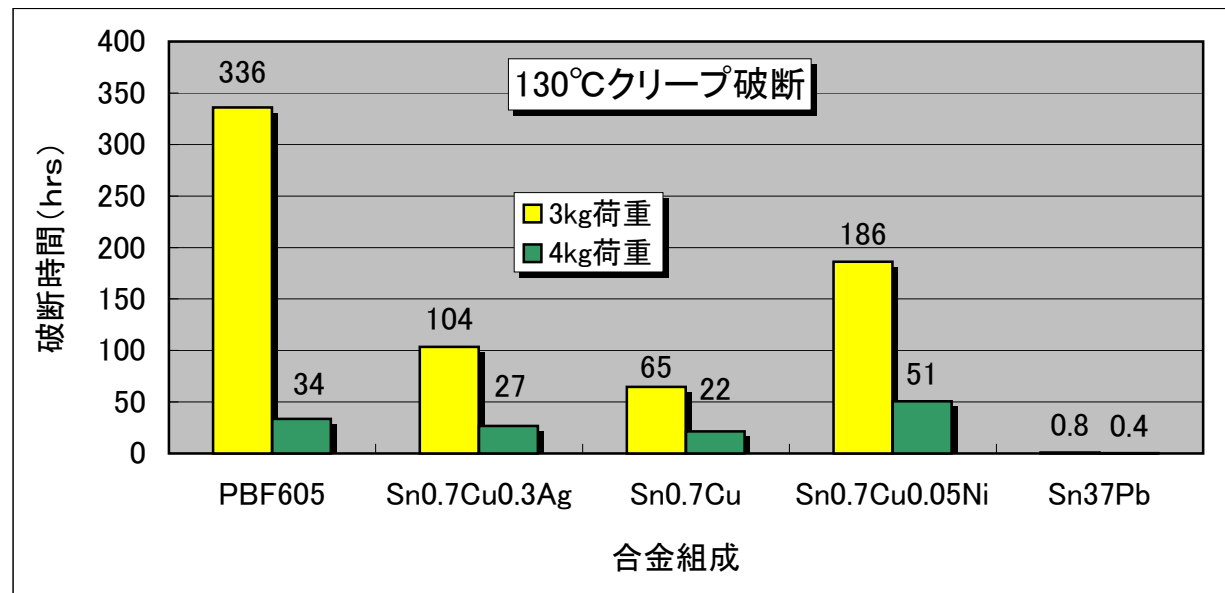


<試験方法>
銅板をはんだ浴に浸漬し、銅板の侵食量を測定。
<試験条件>
・はんだ浴温度 255°C
・銅板 10×120×1mm厚
・浸漬長 20mm(長手方向)
・浸漬時間 30分
(全量溶出量3g)

2)濡れ広がり



3)クリープ強度



3)飛散

